



高品質のクラウド基盤に 多様なサービス

シナジー効果高まる ITHD第2期決算

平成20年4月の設立以来、ITホールディングスでは金融、製造、流通、医療、公共など多様な業種に強みを持つグループ会社が相互の得意分野を組み合わせ、シナジー創出を進めています。グループの共同受注実績は、第1期の29件から、第2期は121件へと拡大しました。多様性の強みを発揮する一方、業界全体でIT投資の先送りが続く、ITHDの第2期決算は売上高が前期比72%減の313.8億56百万円と減収減益となりました。

	ITHD(連結)	インテック(連結)*
売上高(百万円)	313,856(△7.2%)	115,047
営業利益(百万円)	15,996(△32.8%)	6,687
経常利益(百万円)	15,719(△33.4%)	6,049
純利益(百万円)	7,659(△18.6%)	2,277

*平成21年10月にインテックHDを吸収合併したことにより、対前期比は記載しておりません。

インテックの新体制

インテックはこの春、新聞社や製造業向けソリューションを専門分野とする日本システム技術株式会社を新たにグループ会社を迎えました。さらに、クラウドコンピューティングの研究開発力を強化するため、インテック・ネットコアをインテックシステム研究所に吸収合併。インテックシステム研究所の先端商品・先端サービスの創造力と、インテック・

ネットコアのインターネット次世代コア技術を融合することで、新サービスの市場投入スピードを速めてまいります。さらに、インテックは躍進著しい中国をはじめ海外での事業展開をいっそう推進するため、海外事業部を設置、これまでの武漢・上海でのオフショア開発に加え、ITHD各社と連携し新たな海外ビジネスを進めています。

クラウド基盤とサービスに磨き

インテックは昭和39年の創業間もない頃から、いつでもどこでもだれもがコンピュータ・パワーの恩恵を受けられる「コンピュータ・ユーティリティ」を理想に掲げ、その実現に邁進してまいりました。

東京電力との合弁で設立したデータセンター会社「アット東京」をはじめ、国内各地のデータセンターで24時間365日ノンストップの安定したサービスを提供しております。この7月には最新の免震技術を備えた自社データセンターが富山県高岡市で稼働いたします。さらに現在、北陸電力と合弁のデータセンター会社「パワー・アンド・IT」のデータセンター建設を進めております。

これら高品質で安定したクラウド基盤と、長年に渡り蓄積してきた高度な技術力をベースに、インテックはお客さまに安心・安全で高品質なサービスを提供してまいります。